

第二十五回

熊本城（熊本県熊本市）

「花信」 主宰 福谷 俊子 選

熊本市賞一句

大阿蘇の今一輪の返り花

福岡県福岡市 池上 佳子

特選二句

漱石の足跡たどる枯芒

東京都江戸川区 長田 和子

紅葉濃し心に映ゆる不落城

東京都八王子市 長岡 博之

投句総数 九 句

開函日 平成二十九年一月三十一日

第二十五回

法隆寺周辺（奈良県斑鳩町）

「花信」 主宰 福谷 俊子 選

奈良・斑鳩町賞一句

風鐸の微かにわたる返り花

奈良県北葛城郡 荻野 鷹生

特選三句

日向ぼこ猫の背中をさすりつつ

奈良県大和郡山市 菊本 章生

毘沙門の尊顔険し寒の内

大阪府東大阪市 中森 美代子

神鶏の一声長し初山河

奈良県天理市 松田 吉上

投句総数 一〇〇句

開函日 平成二十九年一月三十一日

第二十五回

博物館明治村（愛知県犬山市）

「花信」 主宰 福谷 俊子 選

子規はいく賞三句

吾輩の髭の触るるや木瓜の花

愛知県名古屋市 石井 耿太

牢からの紅葉がきれい明治村

岐阜県多治見市 杉本 創哉

漱石の紅葉をゆらす吐息かな

長野県須坂市 長島 薫

特選三句

冬ざるる森の小径の案内板

愛知県豊田市

小原 麻貴

みみすませすずむしのこえききながら

愛知県小牧市

田辺 大和

坐漁荘に硝子戸の部屋暖炉燃ゆ

愛知県碧南市

山田 吉彦

投句総数 八二句

開函日 平成二十九年一月三十一日

第二十五回

子規庵（東京都台東区）

「花信」

主宰

福谷

俊子

選

特選三句

振りてみよ破れ糸瓜の種無尽

東京都葛飾区

上野

重光

子規庵へ春一番の風に乗り

埼玉県さいたま市

岡本

莞二

文机にひざ立てありて梅開く

青森県八戸市

鈴木

洋子

投句総数

一八句

開函日 平成二十九年一月三十一日

第二十五回

記念艦「三笠」(神奈川県横須賀市)

「花信」 主宰 福谷 俊子 選

特選二句

冬の海三笠の副砲並列す

東京都町田市 飯塚 深

旅順港ビデオ見ながら春遠し

神奈川県藤沢市 島田 玉雄

投句総数 一六 句

開函日 平成二十九年一月三十一日

第二十五回

大和ミュージアム（広島県呉市）

「花信」 主宰 福谷 俊子 選

特選三句

深雪に歩く人無き夜の静か

京都府京都市 大木 啓太郎

血痕の黒ずむ旗や神無月

埼玉県鶴ヶ島市 立花 和大

紅葉ひとひら濤のまにまに大和かな

和歌山県紀の川市 西桜 万美

投句総数 三〇 句

開函日 平成二十九年一月三十一日

第二十五回

歴史博物館・漱石公園（東京都新宿区）

「花信」

主宰

福谷

俊子

選

特選三句

文豪の旧居への坂石路の花

神奈川県横浜市

青嶋

潤一

東京の木枯連れて帰りけり

大分県大分市

神足

律子

天空へきつと描いて筆始め

東京都清瀬市

杉田

柚子

投句総数

六〇句

開函日 平成二十九年一月三十一日

第二十五回

東松山市（埼玉県東松山市）

「花信」 主宰 福谷 俊子 選

特選三句

お言葉は「穏やかなれ」と参賀かな

埼玉県東松山市 新井 基文

生涯をこの地と決めて草紅葉

埼玉県東松山市 大井 津由子

秋深し水豊かなる宿場町

埼玉県東松山市 皆井 弘子

投句総数 四四句

開函日 平成二十九年一月三十一日

第二十五回

鶴ヶ城（福島県会津若松市）

「花信」 主宰 福谷 俊子 選

特選三句

霽ふる会津の城に友の声

東京都江東区 木村 千恵子

天翔ける城の金風紅に

新潟県魚沼市 中澤 諒

さようなら一泊二日のクリスマス

栃木県塩谷郡 藤代 菜摘

投句総数 三九句

開函日 平成二十九年一月三十一日

第二十五回

羽二重団子本店（東京都荒川区）

「花信」 主宰 福谷 俊子 選

特選三句

ひなあられ雛人形が食べたのよ

千葉県千葉市 五十嵐 絢子

小春日の背に羽二重の醤油の香

東京都新宿区 加藤 あけみ

おのが身にロマンスひとつなき暮秋

東京都荒川区 谷井 千絵

投句総数 五八句

開函日 平成二十九年一月三十一日